

つなげよう つながろう
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通じて町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

双葉町郡山支所の花壇に芽を出したスイセンの芽

- ▶ ふたばがひらく場所〈第2弾!〉(P2~3)
- ▶ 男性サークル特集~いわき・加須編~春到来!出でよ双葉男たち(P4~5)
- ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

発行: 双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) 企画・編集: ふたさほ(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



3月に入り、だんだんと暖かくなってきました。春が近づくと、なんだか外へ出たくなる方も多いのではないのでしょうか。今回は、双葉町民のみなさんが各地で再開、または開業した4つのお店を紹介します。お客さんと接するときに気をつけていることや今でも続く双葉のつながりを大切にしていることを話してくれました。春のお出かけの際に、ぜひお立ち寄りください。



☎ 0246-35-6480
 🏠 〒970-8003
 福島県いわき市平下平窪字屋越 51-1
 🕒【平日】9:00～18:30
 【土日祝】9:00～18:00【定休日】年中無休
 ※通信販売もしています。詳しくはホームページをご覧ください。
 🌐 <http://www.futaba-chatei.jp>



☎ 0246-38-9928
 🏠 〒970-8045
 福島県いわき市郷ヶ丘 2-37-5
 🕒【月～土】9:00～13:00
 15:00～20:00 (LO 19:00)
 【定休日】第1,3木・日・祝日定休
 🌐 <https://alpha-kenkoukan.jimdo.com>



復興への希望、込められた想い

眞柄 正洋さん

現店主、眞柄正洋さんのご両親が昭和57年に双葉町でオープンしたふたば茶亭。双葉のみなさんに愛される姿を間近で見てきた眞柄さんは、数々の洋菓子店で修業を積んだ後、ふたば茶亭に舞い戻りました。

震災後しばらくは、大変な苦労があったそうですが「地元から近いところで、また多くの人に来てもらいたい」との想いから平成23年9月にいわき平窪店を移転オープンしました。

店内には、ケーキやマカロンなどたくさんの洋菓子が並びます。その中でも、「故郷の葉(リーフ)パイ」「福に幸あり」は復興の願いを込めて眞柄さんが考えたもの。「移転後も双葉の人が来てくれるのが、人のつながりを感じられてうれしい。僕自身も復興のために何かできればと考えている」と話す眞柄さん。お菓子には復興への願いと双葉への想いが込められています。

町民のみなさんへメッセージ

甘いものを食べるとリラックスできます。近くにお住まいの方も、遠方の方もお待ちしております。

こころも身体も健香に…

富澤 政仁さん

「お客様の痛みや悩みに寄り添い、少しでも和らげてあげたい。そのうえで『症状が良くなった』という声が聞けたときはうれしい」と話す富澤政仁さん。

頸(くび)や骨盤をポキポキ鳴らすイメージがある整体ですが、ここでは特殊な器具を使い痛みの原因を特定、解消していきます。

平成21年4月に双葉町でオープンしたアルファ健香館。それからわずか2年後に震災が起きました。いわき市で再開するまで1年6カ月の休業期間…それでもその間に整体やカイロプラクティックの勉強を重ね、現在の健香館流術式を確立しました。

お客さんの中には、富岡町や楡葉町から避難されている方も多くいて、話を聞くことで身体だけではなく心のケアも行っています。

町民のみなさんへメッセージ

年齢問わず、身体の調子が悪い方はぜひ一度いらしてください。一緒に悩みを解決しましょう。

ふたばがひろく場所

第2弾!

- ☎ ⇒電話番号 🏠 ⇒所在地
- 🕒 ⇒営業時間・定休日
- 🕒 ⇒ラストオーダー、最終受付
- 📄 ⇒ホームページ、フェイスブックページ

※ふたさぼが集めた情報をもとに作成しています



☎ 0248-94-7868

🏠 〒962-0406

福島県須賀川市宮の杜 16-3

🕒 11:30 ~ 20:00 (LO 19:30) ※6月24日以降

【定休日】水定休 ※6月24日以降

※通信販売もしています。詳しくはホームページをご覧ください。

📄 <http://baisenya-rikyuu.com>



『つながり』が感じられるひととき

今村 堯重 さん

「被災者から被災者へ、何か還元できるものがないかと考えたときに頭に浮かんだのがコーヒーだった」

コーヒーが好きだった母の影響で、コーヒー好きになった店主今村堯重さん。震災後、自身も避難生活を送る中、ボランティアで石巻市や大船渡市の仮設住宅などでコーヒーを提供しました。

そのときに出会った方とのつながりが、現在も目に見える形で残っています。店内のマグカップや名刺などは避難先などで知り合った方にお店を開く際に作ってもらったもの。「これからも『人とのつながり』を大切にしていきたい」と今村さんは話します。

現在、お店は6月のオープン(カフェと物販)に向けての準備期間ですが、通信販売は開始しています。焙煎などの知識を独学で培ったという今村さんは、一人一人の好みに合ったコーヒーを丁寧に作っています。

町民のみなさんへメッセージ

店内の落ち着いた空間と美味しいコーヒーをご堪能ください。

いわき・加須編～

双葉男たち!



ゆったり、ゆるく、つながる場

「来年度も継続して活動しよう!男性が来たい時にふらっと立ち寄れる場はやっぱり必要だと思うよ。まずはどんな活動をしているのかをみんなに知ってもらいたい」と代表を務める坂本昌彦さんは話します。

サークル結成から約1年。なかなか参加者が集まらず「どうしたもんかなあ」と悩むこともありましたが、その経験もあり、来年度からは将棋に限らず卓球や料理など、活動の幅を広げていこうとしています。

「双葉町民も地域住民もみんながゆるくつながれるサークルを目指したいね。誰でも気軽に顔を出せるような場を参加者全員で作っていくことがこれからの目標」と話す坂本さん。

平成29年4月からはクラブ名を「将棋&ピンポンクラブ」へと改称し、月に2回の活動を予定しています。

将棋&ピンポンクラブも男の料理教室も、男性であればどなたでも参加可能、メンバー大募集中です。

春のはじめの一歩。この機会にぜひ、ふたばーくに足を運んでみてはいかがでしょうか。

ふたばーく 将棋クラブ



将棋クラブ改め「将棋&ピンポンクラブ」

「あちゃー!そこに打つかあ〜。参ったな〜」そこには腕組みをし、将棋盤を見つめる男性がいました。

そうかと思えばすぐ隣では「俺、80歳だもの。そのボールはきつい!」「いやまだまだ動けっぺよ!」という元気な声が飛び交っています。

これはある日のふたばーくでの1コマ。

「将棋クラブ」はいわき市内で開催された「NHKスマイルキャラバン2015」というイベントへの双葉町民の参加がきっかけとなり、平成28年4月に町民と地域住民が交流できる場として発足。毎月第4火曜日を定期開催日として活動しています。現在は、将棋と卓球をメインに活動中で、3月には「男の料理教室」をふたばーくで開催するなど、来年度に向けて着々と準備をしています。



男の料理教室

【日時】平成29年3月30日(木)午前10時30分～

【場所】ふたばーく

〒974-8232 いわき市錦町作鞍80番5
(東邦銀行植田支店錦出張所内)

【持参するもの】エプロン、三角巾

【申込み先】鈴木(双葉町復興支援員) ☎070-5569-2397

【申込み期日】平成29年3月24日(金)

※こちらの「男の料理教室」は、男性を対象とした料理教室となります。
※味の素株式会社「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」協賛



将棋クラブ

【日時】平成29年3月21日(火)午前10時～

【場所】ふたばーく

〒974-8232いわき市錦町作鞍80番5
(東邦銀行植田支店錦出張所内)

☎0246-84-9560

※平成29年4月以降は「将棋&ピンポンクラブ」へサークル名が改称となり、月2回の開催を予定しています。詳細は別途タブレット端末等でお知らせ致します。



いやしばらく!
いいねえ!
みんなでいわきに
来てください〜

みんな
しばらくだねえ〜。
今度、卓球の交流会
やりましょう!

男の料理教室
in 加須市

将棋クラブ
in いわき市

今回お話しを聞いた「男の料理教室」と「将棋クラブ」のみなさんの夢の対談が実現!お互いの拠点からパソコンを使いテレビ会議でつながりました!それぞれの活動内容、続けていくコツ、これからどうしたいのかなどなど…「男性サークル」ならではのコメントやお悩みなどが双葉弁で飛び交う時間となりました。



ボク作る人、キミ食べる人

23回目の開催となる取材当日のメニューは煮魚、野菜サラダ、味噌汁。参加者は慣れた手つきで包丁を扱い、自然にそれぞれの役割が分担され、段取りよく料理ができて上がりました。

食事の準備が整うと、毎回料理を楽しみにしている町民女性が一緒に食事をします。しかし、調理には加わらず、男性陣が作った料理でもてなされ、今回も絶妙な味付けに感心しきり。

「料理が好きなので、楽しみにしている。家でも一週間に2～3回は料理する」

「ここでは料理しながら、気心知れた双葉の人と会えるので、ホッとする」

「家で時々料理する。妻の反応は微妙だけど、食べてくれているので大丈夫でしょ」

参加者はこのように話します。

現在、男の料理教室では一緒に楽しめる方を募集中です。

興味のある方は気分も新たに新年度が始まる4月から仲間に加わってみませんか。



この日のメニュー

ふたば交流広場 男の料理教室

【日時】毎月第2水曜日午前10時～午後2時

【場所】ふたば交流広場

〒347-0114 埼玉県加須市中種足16番地2

☎ 0480-53-5882

※若干名募集しています。

参加を希望される方はふたば交流広場にお問い合わせください。



男性サークル特集～

春到来! 出でよ

男も楽しい料理

ふたば交流広場(加須市)では、月に1回「男の料理教室」が行われています。この料理教室は川出一郎さんを代表に平成27年4月から始めました。「男性が料理をする場があってもいいよね」「男性が料理を習って奥さんに振る舞ってはどうか」という町民の声をもとに、ふたば交流広場で実施することになりました。これまで家庭料理、そば打ち、饅頭作りなど、挑戦したメニューもさまざま。参加者もどんどん腕前を上げています。

「参加者は料理が好きだし、まずは楽しいことが大切。楽しめる場所があれば、家に閉じこもることも減り、時には料理をすることで、奥さん孝行もできる。当初は包丁もうまく使えない人や指示がないと動けない人もいたけど、今では手際よく調理ができるようになった。今後もどんな料理を作りたいかなど、みんなの意見を聞き、楽しく進めていきたい。また加須のみなさんとも料理で交流したい」と川出さんは話します。

ふたば交流広場 男の料理教室



男の料理教室



将棋クラブ

ふたばのお スマイルフォト



1月15日(日)
ベビーベア作り &
埼玉自治会餅つき大会
(加須市)



1月22日(日)
勿来 & 双葉かるたんか交流会
(いわき市)



1月24日(火)
社会福祉協議会
出張ひだまりサロン
in 南相馬(南相馬市)



1月26日(木)
社会福祉協議会
出張ひだまりサロン
in 平(いわき市)



1月27日(金)
県北ふたば会
健康マーじゃん(福島市)



2月2日(木)
ふたば一く太極拳(いわき市)



2月12日(日)
県中地区自治会定例会
(郡山市)



2月15日(水)
サポートセンターひだまり
ウクレレ教室(いわき市)

町からのお知らせ

情報

運転免許関係業務が再開します

平成29年3月30日(木)から双葉警察署浪江分庁舎の交通窓口で、運転免許関係業務全般を再開します。

運転免許更新申請の受付時間や手続きに必要なものは、誕生日の約1カ月前に届く運転免許証更新連絡書に記載されているとおり、従来と変更はありません。しかし、「更新手数料」「講習手数料」に必要な「福島県収入証紙」は、浪江分庁舎では購入できませんので、最寄りの販売所で事前に購入の上、ご持参ください。

また、新しい免許証は即日交付ではなく、後日指定された日の講習を受講した後の交付となります。

ご不明な点は、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】双葉警察署浪江分庁舎 ☎0240-34-2141



情報

生活サポート補助金申請について

平成28年度分は今月末(平成29年3月31日)までに支出した経費が対象となり、申請受付期間は平成31年3月31日(必着)までとなっております。申請に必要な提出書類の書き方やまとめ方などを対面で詳しく相談できるように『生活サポート補助金相談窓口』を、いわき事務所に開設していますので、ぜひご利用ください。

また、平成29年4月1日以降に支出した経費は平成29年度分の申請対象となりますので、申請の際にはご注意ください。

コールセンターも
ご利用できます

☎0120-280-707 (フリーダイヤル)

受付時間：午前9時～午後6時(土日・祝日、12月29日～1月3日を除く)

■開設場所

双葉町役場いわき事務所
住民生活課内

■相談時間

午前8時30分～午後5時
(土日・祝日、12月29日～1月3日を除く)

※ご相談の際には、お送りしました
申請書等をご持参ください

道路管理

支障木の伐採について

最近、道路に隣接している私有地(山林・宅地)から樹木などの繁茂が多く見られ、一時帰宅の際、道路の見通しが悪く、事故につながる恐れがあります。

事故防止の観点から、早急に剪定・伐採が必要なため、所有者への連絡はご遠慮させていただきますので、ご理解ご協力を宜しくお願いします。

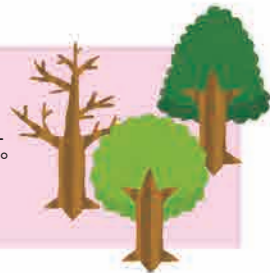
<実施内容>

対象は、道路(公道)沿いとさせていただきます。

剪定・伐採した樹木については、原則、現場での処理とさせていただきます。

所有者として、剪定・伐採されたくない樹木、または一時帰宅の際、交通の支障となる樹木などがありましたら、ご連絡ください。

【問い合わせ先】双葉町建設課 ☎0246-84-5209



3月は自殺対策強化月間です

対策の一環として、パンフレットと入浴剤を同封しています。
こころの不調に気づいたら、早めに専門医に相談しましょう。



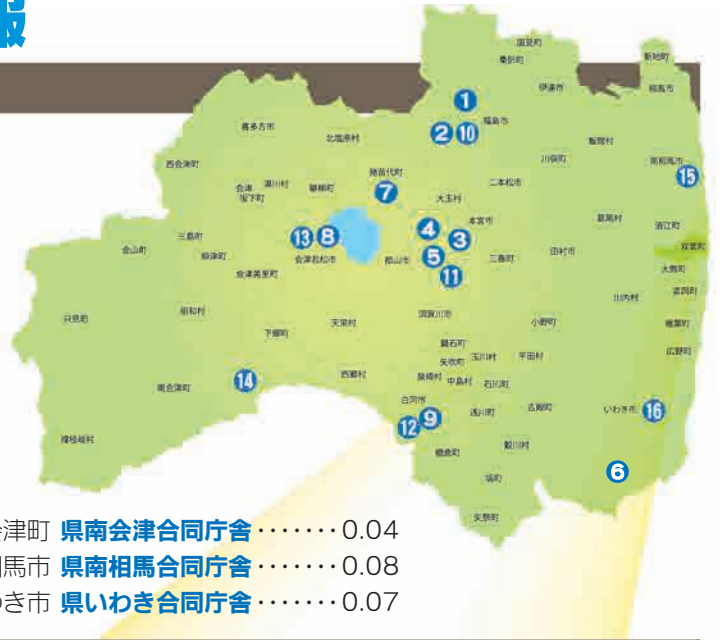
放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成29年2月24日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.12~0.19
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.07~0.09
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.11~0.22
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.08~0.68
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.12~0.19
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.03~0.07
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.06~0.17
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.12~0.13
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.18
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.10
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.08
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.05

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.04
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.08
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成29年 2月24日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.64
新山	新山公民館	—	0.46
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.40
新山	双葉南小学校	—	0.47
新山	双葉中学校	—	0.22
新山	県立双葉高等学校	—	0.30
新山	中央公園	—	0.52
下条	双葉総合公園	2.60	0.85
下条	双葉町役場	—	0.29
郡山	郡山公民館	1.48	0.51
細谷	細谷公民館	2.31	0.63
三字	三字公民館	2.53	1.00
山田	山田農村広場	24.47	6.36
石熊	石熊公民館	12.10	2.73
長塚	双葉町体育館	6.25	1.84
長塚	長塚二公民館	3.26	0.79

地区	地点	平成24年 4月1日	平成29年 2月24日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.09
長塚	町西住宅	—	0.32
長塚	JAふたば北部営農センター	—	6.37
長塚	双葉北小学校	—	1.79
長塚	ふたば幼稚園	—	1.60
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.43
長塚	双葉町児童館	—	0.34
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.68
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.55
寺松	寺松公民館	3.46	1.17
渋川	渋川公民館	1.48	0.49
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.45
中田	中田公民館	0.77	0.27
両竹	両竹公民館	0.54	0.10
浜野	浜野公民館	0.34	0.08

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

日に日に春の気配を感じる今日この頃です。
春といえば、出会いや別れの季節であり、仕事や生活環境が変わる新たなスタートの季節でもあります。
今月号は男性サークルを紹介しました。取材した2つのサークルに共通していることは、まず参加者が楽しんでいること。もう一つは気楽に参加していること。料理にしても、将棋や卓球にしても上手い下手を気にせず楽しむことが大切なのかもしれませんね。
今月号で紹介したサークル以外にも、各地に町民のみなさんが楽しんでいるサークル活動はたくさんあります。これまで参加していなかったみなさんも、春から新たな楽しみをスタートさせてみてはいかがでしょうか。

(ふたさぼ 小幡)

後世に残したい双葉町

私が後世に残したいものは、町民から「ありがとう」と言われた時のうれしさやこの仕事をして良かったという気持ちです。この感覚は忘れたくありません。
時にはお叱りを受けたり、また励ましていただいたりと、町民との距離が近い環境で仕事が出来たことが、役場職員としての成長につながりました。私自身がそうであったように、成長できる環境にいることを後輩職員へも伝えていきたい。他にも、震災当時から支援いただいたみなさんへの感謝も発信していきたいです。これから町が進む新たな段階の中で、町民と職員が同じ歩幅、歩調で歩ける日が必ず来ると信じています。
「ありがとう」を励みに、そして合言葉にして、日々業務に邁進します。

